Faculty of GLOBAL COMMUNICATIONS

同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部

英　語コース ENGLISH COURSE

中国語コース CHINESE COURSE

日本語コース JAPANESE COURSE

同志社大学
Doshisha University

copyright Doshisha University

世界へ通じる対話力。

創立以来、「国際主義」を教育理念に掲げてきた同志社大学。その伝統をさらに発展させ、現代のグローバル化した社会に対応した学びの場としてグローバル・コミュニケーション学部は生まれました。変容し続ける国際社会において、ビジネスや政治、文化交流、教育などあらゆるフィールドで活躍できる人物を育むために、本学部では教養と実践のバランスのとれた学びによって、世界で通用する「対話力」を養成しています。

学部のポイント

実践的な学びを通して身につくコミュニケーション能力

外国語の「話す、聞く、書く、読む」能力を確実に強化するため、少人数クラスを編成し、教員が学生一人ひとりをきめ細かく指導。体系的・段階的なカリキュラムによって、実践的なコミュニケーション能力を身につけます。

英語・中国語コース必修のStudy Abroad

英語コースと中国語コースの全学生は、それぞれの言語圏の大学において1年間のStudy Abroadを体験。現地での学びを通して、極めて高い外国語運用能力の習得と異文化理解の深化を目指します。

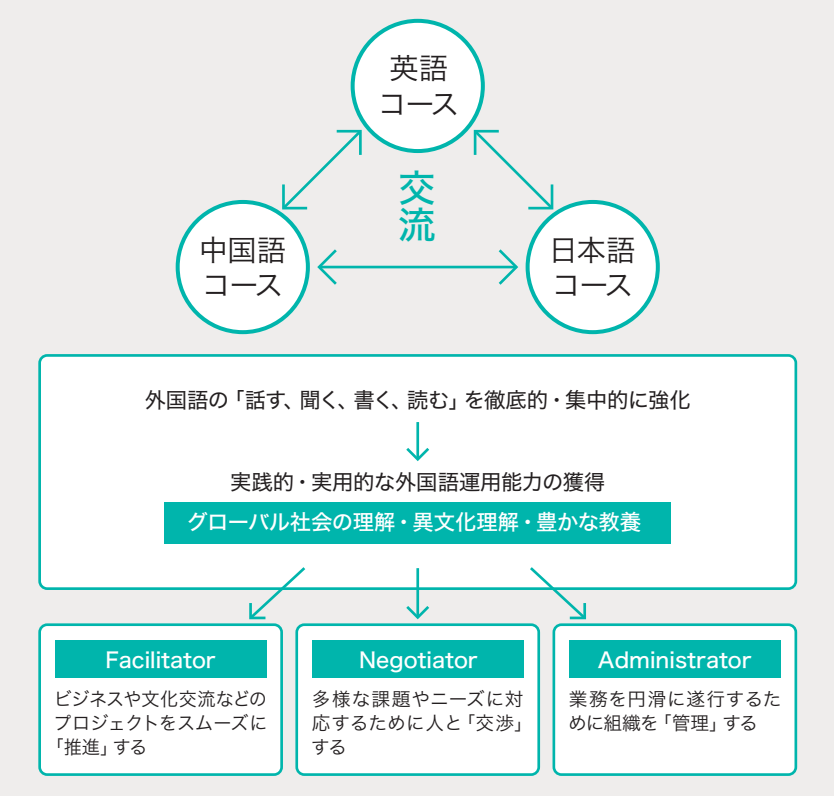
3コース共通必修のSeminar Project

Seminar Projectでは、3つのコースの学生が協力して、国際会議や文化交流などのプロジェクトを企画・立案、運営します。学生が主体となってプロジェクトを遂行することで、社会で通用する実践的なコミュニケーション能力を磨きます。

グローバル・コミュニケーション学部が目指す人材像

グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科は、グローバル化した社会に対する幅広い教養と国際的センス、強い自立心と倫理観を身につけると同時に、高度で実践的・実用的外国語運用能力の習得を通して、ビジネス関連の諸分野や国際機関、教育機関、また国際政治や文化交流に係わる非営利事業の諸分野などの国際的舞台で、facilitator、negotiator、administratorとして活躍できる人材を養成することを目指します。

人材養成のイメージ



タンデム・パートナー制度

英語・中国語コースの学生と、日本語コースの留学生がペアを組み、自分の母語や得意な言語を勉強しているパートナーをサポートする学部独自の制度です。この制度を利用して授業以外でも他コースの学生と交流しながら、より質の高い外国語学習を目指すことが可能です。また、お互いに教え合うことで、学びたい言語はもちろん、慣れ親しんだ母語にも新たな発見があります。

詳細はこちら

4年間の学び

赤字は3コース共通の必修科目　一部の選択科目については所属コース以外の科目も履修可能

英　語コース		1年次		
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター
必修科目	基礎講義科目群	Introduction to Global Communication Introduction to English-Speaking Cultures	Introduction to Japanese Culture	Study Abroad（留学）
必修科目	基礎外国語学科目群	Progress in Reading 1　Progress in Writing 1 Communicative Performance 1　Preparation for TOEFL	Progress in Reading 2　Progress in Writing 2 Communicative Performance 2	
必修科目	ゼミ関係科目群	Threshold Seminar 1	Threshold Seminar 2 Preparation for Academic Study	
選択科目	専門講義系科目群	教職関係科目		
選択科目	専門講義系科目群	Communicative Skills in German/French/Chinese I	Communicative Skills in German/French/Chinese II	
選択科目	教養系科目群	全学共通教養教育科目　等		

中国語コース		1年次		
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター
必修科目	基礎講義科目群	Introduction to Global Communication		中国総合研究
必修科目	基礎・上級外国語科目群	基幹中国語Ⅰ（会話/講読）	基幹中国語Ⅱ（会話/講読）	基幹中国語Ⅲ（会話/講読）
必修科目	ゼミ関係科目群	基礎演習1	基礎演習2	基礎演習3
選択科目	専門講義系科目群	基幹中国語Ⅰ（リスニング/ライティング） 基幹中国語応用1	基幹中国語Ⅱ（リスニング/ライティング） 基幹中国語応用2	基幹中国語Ⅲ（リスニング/ライティング） 基幹中国語応用3
選択科目	専門講義系科目群			「グローバル論」科目　「異文化間交渉論」科目 「中国語論」科目
選択科目	専門講義系科目群	英語リーディング1　英語コミュニケーション1 英語リーディング（上級）	英語リーディング2　英語コミュニケーション2 英語コミュニケーション（上級）	英語リーディング3 英語コミュニケーション3
選択科目	教養系科目群	全学共通教養教育科目　等		

日本語コース		1年次		
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター
必修科目	基礎講義科目群	Introduction to Global Communication		
必修科目	基幹日本語科目群	プレゼンテーション1　アカデミックライティング1 クリティカルリーディング1	プレゼンテーション2　アカデミックライティング2 クリティカルリーディング2	
必修科目	ゼミ関係科目群	ファーストイヤーセミナー		日本語コミュニケーションの基礎1 日本語コミュニケーションの基礎2 グローバル化と日本社会1
必修科目	プロジェクト型講義科目			ワークショップ現代日本社会1
選択科目	専門講義系科目群			
選択科目	専門講義系科目群			
選択科目	専門講義系科目群	日本語インテンシヴ1　英語リーディング1 英語コミュニケーション1　英語リーディング（上級） 英語初級インテンシヴ1	日本語インテンシヴ2　英語リーディング2 英語コミュニケーション2　英語コミュニケーション（上級） 英語初級インテンシヴ2	英語リーディング3 英語コミュニケーション3
選択科目	教養系科目群			全学共通教養教育科目　等

学部施設紹介

香柏館（こうはくかん）

グローバル・コミュニケーション学部の拠点施設で、館名は、旧約聖書詩篇第80篇10節「その影はもろもろの山をおほひそのえだは神の香柏のごとくにありき」に由来します。自学自習室、セミナールームと所属教員研究室を設置しています。

自学自習室

授業の合間に個人学習ができるブース席のほか、外国語や留学に関する書籍はもちろん、語学試験や就職活動対策についての参考書が閲覧できる資料閲覧コーナーを設置しています。

プレゼンテーションルーム・グループワークルーム

プレゼンに使用可能なプロジェクターを備えたプレゼンテーションルームや、可動式の机とイス、ホワイトボードを配備したグループワークルームを設置しています。

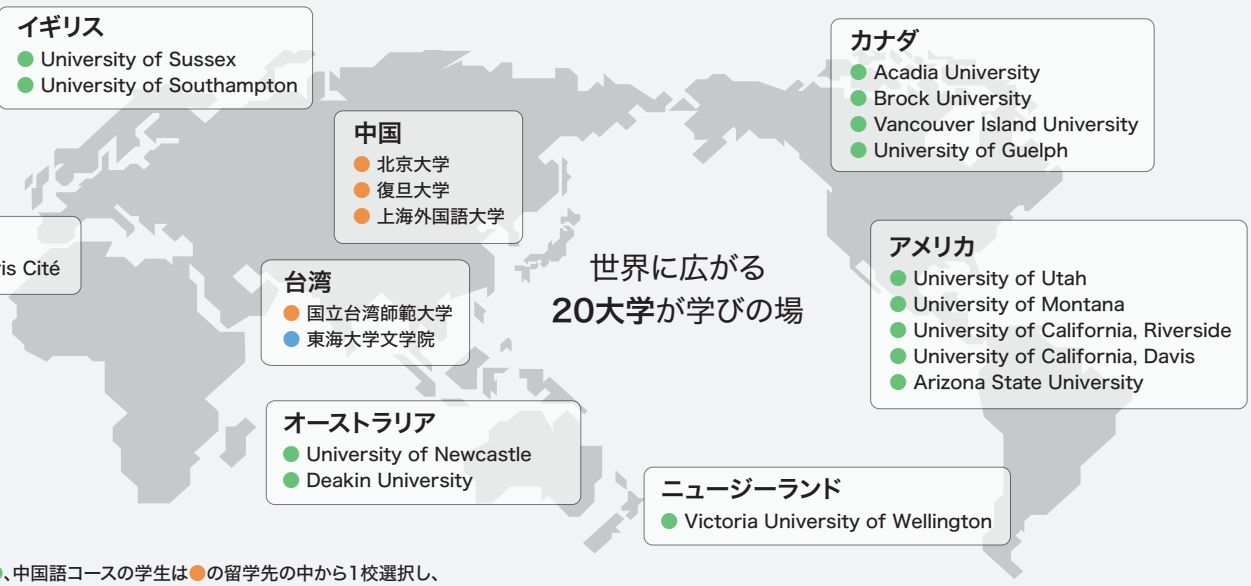
2年次	3年次		4年次	
第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	Intermediate Seminar 1	Intermediate Seminar 2	Advanced Seminar 1 Seminar Project 1	Advanced Seminar 2 Seminar Project 2
	「English Proficiency Skills」科目　「Global Issues」科目　「Cultural Issues」科目　「Language Issues」科目　教職関係科目			
	ドイツ語・フランス語・中国語については、3年次以降も全学共通教養教育科目(外国語教育科目)を履修することで継続的な学習が可能			
	全学共通教養教育科目　等			

2年次	3年次		4年次	
第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
		上級中国語精読　上級中国語ライティング		
		専門演習1	専門演習2 Seminar Project 1	専門演習3 Seminar Project 2
Study Abroad(留学)		「実践的中国語」科目		
		「グローバル論」科目　「異文化間交渉論」科目　「中国語論」科目		
		英語リーディング4 英語コミュニケーション4		
		全学共通教養教育科目　等		

2年次	3年次		4年次	
第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
日本語コミュニケーションの基礎3 日本語コミュニケーションの基礎4 グローバル化と日本社会2	応用演習1	応用演習2	専門演習1 Seminar Project 1	専門演習2 Seminar Project 2
ワークショップ現代日本社会2				
「実践日本語」科目				
「グローバル論」科目　「日本文化論」科目　「日本語論」科目				
英語リーディング4 英語コミュニケーション4				

留学先一覧

●英語コース
●中国語コース
●全コース共通



イギリス
- University of Sussex
- University of Southampton

中国
- 北京大学
- 復旦大学
- 上海外国語大学

カナダ
- Acadia University
- Brock University
- Vancouver Island University
- University of Guelph

フランス
- Université Paris Cité

台湾
- 国立台湾師範大学
- 東海大学文学院

アメリカ
- University of Utah
- University of Montana
- University of California, Riverside
- University of California, Davis
- Arizona State University

オーストラリア
- University of Newcastle
- Deakin University

ニュージーランド
- Victoria University of Wellington

英語コースの学生は●、中国語コースの学生は●の留学先の中から1校選択し、1年間のStudy Abroadを行います。●の留学先は、コース関係なく派遣が可能な学部間協定校となります。

※2025年4月現在

詳細はこちら

英語コース ENGLISH COURSE

必修のStudy Abroadで国境や文化圏を越えたコミュニケーションを体得します

ボーダーレス化が進む社会において要求される能力を養成するために、グローバルな水準、専門的には5C'sと呼ばれる外国語教育理念に基づいたカリキュラムを組んでいます。facilitator、negotiatorまたはadministratorとして能力を発揮するためには複雑な社会の機能やその背景の文化を学ばなければなりません。1年次では、2年次必修のStudy Abroadの準備をしながらコミュニケーション理論や世界で使用されている様々な英語について学び、コミュニケーション能力を伸ばします。また、ドイツ語、フランス語、中国語の中から一言語、第2外国語を選択し、週3回の授業を通して集中的に学ぶことで、第2外国語の習得も目指します。3・4年次では海外での経験や学習内容を発展させ、さらに高度なコミュニケーション技能を習得します。

到達目標

▶TOEFL iBT®テスト79点（TOEFL ITP®テスト 550点相当）以上
▶TOEIC® LISTENING AND READINGテスト850点以上

5C'sの外国語教育理念とは？

- 人と対話する力（Communication）
- 異文化についての教養（Cultures）
- 既存の知識と外国語を通して得た知見を結びつける統合力（Connections）
- さまざまな言語や文化の違いを理解し尊重する力（Comparisons）
- 異なる言語・文化コミュニティーへ積極的に参加する力（Communities）

こうした力を総合的に育んでいく教育理念です。

資 格

●語学能力試験
TOEIC® LISTENING AND READINGテスト

2022年度生 平均点
851

海外部門で働く社員・職員に期待する平均スコア※
690

新入社員・職員に期待する平均スコア※
535

※（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会「2019年度 新入社員 TOEIC® Listening & Reading 最新データ」より

※（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会「英語活用実態調査2019（企業・団体）」より

●教職課程
次の4つの免許が取得可能です。

- 小学校教諭一種
- 中学校教諭一種（英語）
- 高等学校教諭一種（英語）
- 学校図書館司書教諭

授業紹介

Communicative Performance

英語だけを使った少人数のクラスで発表や議論の方法を学びます

教室ではすべて英語で活動します。ネイティブスピーカーと豊かな海外経験を持つ日本人の教員が半年ずつ担当、英語圏でのコミュニケーション、主に発表の仕方を訓練します。春学期の間には10分程度の英語の発表ができるようになります。秋学期にはStudy Abroad先での学習形式〔講義→ディスカッション〕に対応できるように練習します。週2回11〜12人の少人数クラスで和気あいあいと様々なグローバルな話題に挑みます。

World Economy and Business

世界経済とグローバルビジネスの構造と動態について多様な視点から分析する力を身につけます

文化、政治、経済発展の度合いなどの観点から国と地域が複雑に絡み合う世界経済の仕組みと実態について理解を深めます。さらに、グローバル化が深化する中、ビジネスが直面する文化や経済制度の違いから生まれる問題についても学びます。また、知識として不可欠なマーケティングと経営学の基礎を学んだあと、企業の海外進出戦略、CSR、国際貿易、地域統合などの各テーマについて理解を深めていき、多角的に世界経済とグローバルビジネスを考える力を身につけます。

Intercultural Communication

異文化コミュニケーションで発生する問題を考えます

グローバル時代の異文化コミュニケーションの問題を考えます。地球上の言語や文化の違いは人類の宝物ではありますが、多くの誤解も生み出しています。こうした違いはなぜ生まれるのか？ 実際のコミュニケーションにどのような影響を与えるのか？ Study Abroadでの体験に基づき、理論と実践を結びつけるのは興味深いプロセスです。

Communicative Skills in German/ French/Chinese

第二外国語の実践的な運用能力を身につけます

言葉や文化が異なる人たちと交流するには、多様な価値観を認識し、様々な視点から自分の考え方を伝達できるように、母語の他に2つの外国語を学ぶことが好ましいです。英語コースではドイツ語・中国語・フランス語の中から第二外国語を選択できます。週3回の授業をネイティブスピーカーと日本人教員が担当し、基礎的な単語や文法を身につけながら簡単なコミュニケーションがとれる力を養成します。

英語科教育法A1

外国語学習を促進する手法や指導方法を学びます

本授業では、学習者の外国語習得を妨げる要因、及び外国語習得を促進するための指導法や教室環境づくりについて学びます。学習歴データや授業ビデオ観察などを基に、自らの経験とも関連させ、ディスカッションを通して学習者の理解を深めます。現職教員もお招きし、学習者のための授業の在りようについて学びます。

在学生インタビュー

学生自身が留学中の様子を伝える
SAレポートを掲載しています

自分の足で情報を集め、人の輪を広げたことが大きな自信に。留学中に関心を持ったエネルギー分野で活躍したい

中学生の頃から英語が好きで、海外で学ぶことを夢見ていました。GC学部に入学したのは、充実したStudy Abroad(留学プログラム)に加え、留学生を数多く受け入れているグローバルな学習環境や、多様な価値を認め合う「国際主義」という建学の精神にも惹かれたからです。入学後は英語の4技能を磨きながら異文化理解やコミュニケーションについても学びました。時にはクラスメイトの高い能力に圧倒されることもありましたが、先生方の丁寧な指導のもと、少人数の和やかな雰囲気の中で着実に力をつけることができました。念願叶って始まったカナダのブロック大学でのSA生活ですが、当初はアカデミックな場で意見を述べることが難しく、大量の課題やレポート作成では文法の細かな間違いにも悩みました。しかし、現地の友人たちの温かいサポートと、GC学部で身につけた予習復習を続けることで、徐々に成長を実感できるようになりました。留学中は授業以外にも多くの学びがありました。学内で企画されたイベントやパーティーでの同世代の仲間との交流や、カナダの山々に登って雄大な自然を目の当たりにしたことは、かけがえのない経験となりました。また、ボランティア活動にも力を入れました。学内の案内だけでなく、現地の市役所に足を運んで情報を集め、高齢者向け施設での買い物サポートやLGBTQフェスでの募金活動など、50種類ほどの活動に取り組みました。最初は英語力向上が目的でしたが、やがて現地の人との温かい交流や社会貢献にやりがいを感じるようになりました。SA前は人と比べてしまい劣等感を抱くことも多かったのですが、様々なチャレンジが大きな自信に繋がりました。さらに、カナダでの暮らしの中で環境保全の先進的な取り組みにも触れ、環境問題をより身近なものとして捉えるようになりました。卒業後はエネルギー分野の仕事に就き、環境問題の解決に貢献したいです。

英語コース 4年　長田　真依さん
（留学先/ブロック大学）

中国語コース　CHINESE COURSE

地球規模で展開する中国語圏への架け橋となる中国語スキルと異文化への理解力を養います

華人社会はグローバルということばが常用されるようになる以前から、地球規模で展開してきました。現在では、中華人民共和国、台湾、香港、マカオ、シンガポールはいうにおよばず、北米、ヨーロッパ、東南アジア、アフリカ、オセアニア、日本など世界の多くの国や地域に華人コミュニティが存在します。つまり、中国語は英語とはまた違った意味で、非常にグローバルな言語のひとつなのです。
英語や日本語のみならず中国語の眼を通して世界を見ることによって、グローバル化した現代社会の諸問題に対応する手段がひとつ増えることは間違いありません。中国語コースでは、少人数クラスによって集中的に基礎を身につけた後、1年間のStudy Abroadによって中国語の高度な総合的運用能力の習得および異文化理解の深化を目指します。

到達目標

▶中国語検定 2級
▶漢語水平考試（HSK）6級

資　格

●語学能力試験

中国語検定 2級
やや高度の中国語を読み、書くことができる。

漢語水平考試（HSK）6級
中国語の情報をスムーズに読んだり聞いたりすることができ、自分の見解を流暢に表現することができる。

HSK6級取得率
77.5%
（2022年度生）
※満点の6割以上のスコアを獲得した割合

授業紹介

基幹中国語Ⅰライティング

作文や短文の暗唱を通して「実際に使う」文法と作文能力を習得します

主に中国語のライティング力をつける授業です。作文練習や短文の暗唱を通し、「実際に使う」ことのできる中国語能力を確実に身につけることを目標にします。学んだことを反復練習しつつ、誤りや不自然なところは担当教員の添削を受け、さらにそれを覚え直していきます。短文の作文を通じて中国語の文法と作文の能力を身につけ、常用字の発音をピンインで正確に表記できるようになることが到達目標です。

基幹中国語Ⅲ会話

現代社会の身近な話題や日常的な会話を通じ文法・表現を身につけます

「基幹中国語Ⅰ・Ⅱ会話」で学んだ基本的な単語、文型、表現をしっかり身につけるとともに、さらに日常生活の中で特定の場面や限定的な範囲でのコミュニケーションを学びます。また適度に現代社会における身近な話題を取り上げ、ネイティブスピーカーの指導の下、その話題をめぐってやや複雑な内容の会話を交わすことができるような力を習得するとともに、積極的に会話に参加していく姿勢を養います。

基礎演習1

調査とプレゼンを通じ、中国語圏の基礎知識を習得します

中国語圏に関する基本的な知識やスキルを習得するための授業で、1人1回のプレゼンが義務づけられています。報告担当者はテキストや新聞記事を素材にテーマを設定し、専門書等を使って独自の調査を行い、レジュメを作成してプレゼンに臨みます。質疑応答や教員による解説を通じて主体的に考える力を養い、問題意識を深めていきます。

通訳の理論と実践

通訳・翻訳の現場を学ぶと同時に、実際の演習も行います

この授業では、実際に通訳者・翻訳者として活躍中の教員が様々なコミュニケーションの現場での通訳の実態について解説を行い、実践上・理論上どのような問題が存在するか、実例を挙げつつ分析します。同時に、受講生自身も繰り返し通訳演習を行い、その困難さを体験しながら通訳スキルの向上を目指していきます。

中国語圏の政治事情

中国語圏の政治情勢や、今後の日中関係のあり方を学びます

グローバル化が進展する国際社会の中で、中国・香港・台湾・シンガポール等中国語圏の政治情勢はどのようになっているのでしょうか。その核心に、近代以降の歴史的経緯を踏まえつつ多面的・複眼的に迫っていきます。また、中国語圏の多様性と可能性を踏まえて、よりよい21世紀中国のあり方や日中関係のあり方を模索していきます。

在学生インタビュー

留学を通して多様な価値観を認め合う大切さを実感。実践的なコミュニケーション力が磨かれました

学生自身が留学中の様子を伝える
SAレポートを掲載しています

高校3年生の夏に、テレビで中国の政治に関する特集を目にしたことが、この国に関心を持つきっかけでした。隣の国なのにわからないことが多く、だからこそ「自分の目で確かめてみたい」と強く思うようになりました。大学では実践的な中国語を学んで留学したいと考え、GC学部を志望しました。入学して初めて中国語に触れたときは、発音の難しさに驚き、とても苦労しました。HSK（漢語水平考試）を定期的に受けるという目標を持って学ぶことを心がけたほか、タンデム・パートナー制度を利用して中国人の友人たちに発音を確認してもらうことで、徐々に会話ができるようになりました。北京大学でのStudy Abroad(留学)生活では、韓国やドイツ、オーストラリア、ペルーなど世界各国から集まる学生と共に学び、現地で開催された日中交流会に参加して中国人の友人にも恵まれました。留学中は語学力の向上はもちろん、様々なバックグラウンドを持つ人たちの多様な価値観に触れることで、大きく視野を広げることができました。また、休暇を利用して中国各地を旅行したことも、有意義な体験でした。ハルビンや大連といった東北部や、西安、南京、上海など、多くの都市を訪れましたが、地域ごとに文化や街並みに異なる特色があり、中国の多様性を実感しました。現地の博物館では世界史の教科書で学んだ文化財の数々を間近に見ることができ、改めて歴史の深さに触れることもできました。旅先で人々の日常に接し、それまで抱いていたイメージとは異なる自由でたくましい一面を発見したことも大きな成果でした。留学生活を通して中国の奥深さを知ると共に、自国である日本についてもっと知る必要があるとも感じました。将来は中国語コースで学んだことを活かし、メディアの記者として日本と中国の相互理解を深める一助になりたいです。

中国語コース 4年　竹内　諒玖さん
（留学先/北京大学）

日本語コース JAPANESE COURSE

「グローバル日本社会」を生き抜くために必要な日本の「ことば」「文化」、そして「社会」を多面的に学びます

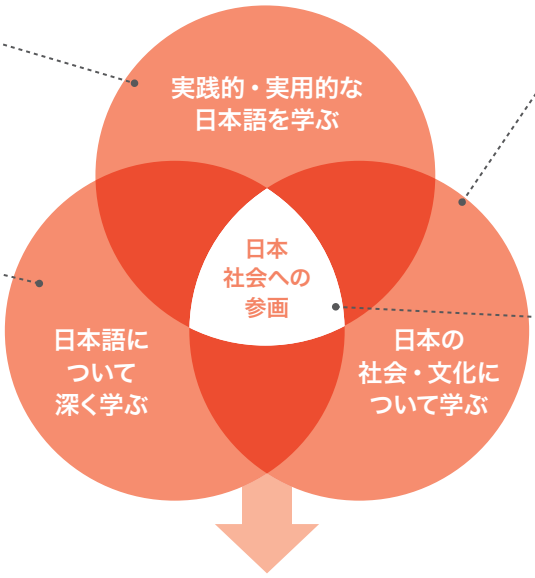
外国人留学生を対象とした、日本語・日本文化のプロフェッショナルをめざすコースです。
徹底した少人数編成で、グローバル化する日本社会を生き抜くためのコミュニケーション能力を身につけます。
日本語コースの大きな特徴は他のコースのStudy Abroadの代わりに設けられた、「日本の社会実習」「ワークショップ現代日本社会」など日本社会への参画を意識した科目群です。学外の企業・公共機関・文化財等の見学、あるいは、企業等からの外部講師による、課題解決型のワークショップ形式の授業等を通じて、実践的な日本語の運用能力が磨けるだけではなく、日本社会や日本文化があらゆる側面から理解できるようになります。それをきっかけに、インターンシップやボランティアなど課外活動に積極的に取り組み、日本社会で活躍できるようになることを目指しています。
さらに、演習系の科目では、日本語・日本文化・日本社会の体系的な知識や考え方をもとに、外国人が日本社会で遭遇するコミュニケーションの様々な問題に意欲的に対処できる力を身につけます。

実践的・実用的な日本語を学ぶ

- 1年次で大学生・社会人に必要な運用能力の基礎を徹底的に習得します。
- 2年次以降で、通訳翻訳・ビジネス等で求められるスキルを習得します。

日本語について深く学ぶ

- 母語と日本語が客観的・多角的に観察できるようになり、通訳翻訳といった、母語と日本語が求められる高度で専門的な業務ができるようになります。
- 自らの日本語でのコミュニケーションを絶えず観察できるようになり、卒業後も、より洗練されたコミュニケーションを目指すことができます。



日本の社会・文化について学ぶ

- 日本の社会システム、日本の現代文化・伝統文化の価値を、グローバルな視点からとらえられるようになります。
- 日本社会の一員として生きていくために、多文化共生の観点から、多角的に考え、社会で遭遇する様々な問題に対処できる力が身につけられます。

日本社会への参画

- 実社会での多様な人々との交流を通じ、日本社会の特徴や課題を深く理解できるようになります。
- 社会を支える一員として、企業や地元の人々とともに行動できるようになります。

高度なコミュニケーション力を持った「グローバル日本社会」の主役に。

●実践的・実用的な日本語　●もう1つの外国語運用能力
●グローバル社会の理解　●異文化理解　●豊かな教養

到達目標

▶J.TEST実用日本語検定 準A級レベル　▶BJTビジネス日本語能力テスト J1レベル

授業紹介

ワークショップ現代日本社会1

観光関連業界からゲスト講師を招き留学生の視点で日本の観光産業を考えます

毎回、観光におけるコンテンツをテーマに、観光関連業界の最前線で活躍されている方々（ホテル支配人や総料理長・マスコミ関係者・老舗旅館の女将・音楽家・ブライダル企業経営者など）をゲスト講師にお招きし、貴重なお話を伺いながら、学生主体で課題に取り組むワークショップ形式の授業です。15回の授業を通じ、観光立国を目指す日本の観光ビジネスの動向と未来戦略について、留学生の視点から考えます。

日本の伝統文化演習 B

世界に受け入れられた日本文化を体験や見学を通してより深く学びます

数百年以上に渡って受け継がれてきた日本の伝統文化は、日本だけでなく、世界でも受け入れられています。授業では、禅、着物文化、能、茶の湯の四つの伝統文化について、一日一テーマの集中講義を行います。また、日本の伝統文化の担い手は、日本人に限らず、外国人の方も携わることが増えています。この授業では、禅はドイツ人禅僧、茶の湯はカナダ人裏千家教授が担当します。それぞれのテーマについて、講義だけでなく、体験や見学なども実施し、より深く学ぶことができます。

クリティカル・リーディング

仲間と文章について意見を交わし、書評を書きます

大学では論理的な文章を読み、自分の意見を述べることが必要です。書かれた文章を理解するだけではなく、本当にそうなのかと「批判的に」読むことが大切です。さらに、日本語による読書を楽しむために、仲間と新書を読み、お互いの意見を述べます。仲間と助け合いながら、最初から最後まで読み通し、書評を書きます。

日本語コミュニケーションの基礎

日本語コミュニケーションの全体像を学びます

文法や会話、発音、日本語教育など様々な分野の専門知識を学んだ上で、実際に使用される日本語の観察や、自分の母語との比較を通して、通訳や翻訳の基礎ともなる、コミュニケーションにおける日本語の全体像を学びます。日常生活からビジネスまで、様々な場の「生きた日本語」の特徴に注目し、自由に使えるようになることを目標とします。

ビジネス日本語

論理的な日本語と同時に将来に不可欠な知識を学びます

日本語で意見を論理的に発信できるよう指導をおこないます。留学生が将来、社会人としてどこで、どのように働いて人生を歩むのかを主体的に選択して計画できるように、人生に不可欠な収入と生活費・社会保障・家族と労働などについて日本と海外を比較しながら、グループワークを通じて学びます。

就職・進学データ

就職 国内就職希望者のほぼ全員、卒業生の約6割が日本国内で就職
全国平均32.7%(2021年度)
※日本学生支援機構「外国人留学生進路状況調査」より

これまでの主な就職先
旭化成／三菱電機／ニトリ／楽天／ソニーグローバルソリューションズ／ファミリーマート／アクセンチュア／ルイ・ヴィトン ジャパン

進学 進学卒業生の約1割が、日本語・日本社会の専門家を目指し国内外の大学院へ進学

これまでの主な進学先
大阪大学大学院 人文学研究科／西江大学大学院 新聞放送学科（韓国）

在学生インタビュー

留学生自身が日本での学びの様子を伝える留学生レポートを掲載しています

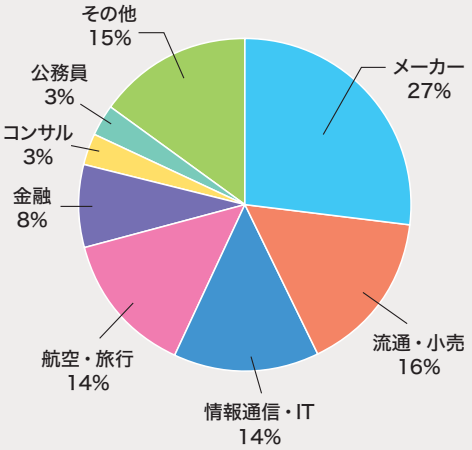
仲間と共に日本語や日本社会の魅力を探求。大学での学びを活かして将来は日本で働きたい

母の影響で小学生の頃から日本のドラマを観て育ち、高校では日本文化を体験するサークルに所属していました。そこで芽生えた「日本で暮らしたい」という思いは次第に強くなり、韓国でも著名な詩人の尹東柱が学んだ同志社大学への留学を決意しました。高校で日本語を学んだうえで来日しましたが、教科書では触れることのなかった関西弁に最初は戸惑いました。しかし、授業を通じて日本人の友達ができ、地域の人々の温かさに触れる中で、この大学を選んで本当によかったと実感するようになりました。日本語コースでは語学はもちろん、日本社会についても理解を深めていきました。中国やベトナム、フランスなどの多様な国の友人とのディスカッションを通して様々な視点を知り、自分の価値観だけにとらわれない考え方が身についていきました。2年生からは結婚式場や旅館を実際に訪れ、日本独自の「おもてなしの精神」も学ぶことができました。授業をきっかけに、京田辺市の職員の方や地域の団体と協力して防災イベントを企画・運営したことも貴重な経験となりました。地域の皆さんと共に防災について考える中で、日本の高い防災意識を学び、同時に留学生や外国人の災害対策についても理解を深めました。また春休みには、受験時の不安を知る先輩として、母校でGC学部の魅力を伝える留学説明会を開催しました。こうした日本での充実した経験を通して、誰かの役に立つことの喜びとやりがいを強く感じるようになりました。今後は日本での就職を目指し、この学部で培った知識と経験を活かして活躍していきたいです。

日本語コース4年 朴（パク） 志敏（ジミン）さん

就職状況

本学部の4年間でfacilitator、negotiator、administratorとしての能力を獲得した卒業生が、社会の様々なフィールドで活躍しています。
メーカーや商社を含む流通・小売業界、情報通信・IT業界への就職が多いほか、航空・旅行業界を志望する学生も多いのが特徴です。



詳細はこちら

入試情報

●英語コースおよび中国語コース

- ▶ 一般選抜入学試験
- ▶ 大学入学共通テストを利用する入学試験
- ▶ 自己推薦入学試験

●日本語コース

- ▶ 外国人留学生入学試験
- ▶ 外国人留学生公募制推薦選抜入学試験

詳細はこちら

受験生・高校生向け特設サイト

詳細はこちら

受験生・高校生向け特設サイト ——

GC学部を知ろう！

教員や在学生による学部紹介・卒業生からのメッセージ・講義体験まで！さまざまなコンテンツを通して、受験生や高校生のみなさんにGC学部の魅力をお伝えします！

同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部

グローバル・コミュニケーション学部事務室

TEL 0774-65-7491　E-mail jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp

一般選抜入試に関するお問い合わせ先　入学センター入学課

TEL 075-251-3210　E-mail ji-nyugk@mail.doshisha.ac.jp

外国人留学生入試に関するお問い合わせ先　国際センター留学生課

TEL 075-251-3257　E-mail ji-intad@mail.doshisha.ac.jp

Instagramでも最新の情報を発信中！

交通アクセスはこちら

同志社大学 Doshisha University